

■ビニル床材のご選定と施工・ご使用の際の ご注意

- ・天然素材をプリントした複層ビニル床タイルは、その質感を再現するため、色・柄に微妙な変化をつけています。自然な感じを出すため、施工前に数ケースを混ぜ合わせて、仮並べしてから施工してください。
- ・有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気が心がけてください。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ・施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケース、包装紙、紙管などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル系床材を燃やすと有害ガスが発生します。
- ・長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。
- ・清掃時には、必要以上に余分な水を使用しないでください。

- ・溶剤や薬剤をこぼした時は、床材が軟化あるいは変色することがありますのですぐ拭き取ってください。
- ・重い什器などを引きずることは、床材の傷つき、剥離欠損の原因となりやすいので避けてください。
- ・しみやタバコの焼け焦げ跡の処置、床材の剥がれや割れの補修はできるだけ早く行ってください。
- ・直射日光のあたる場所では、床材が変色、退色することがありますので、ブラインドやカーテンなどの取付けをおすすめします。
- ・複層ビニル床タイル及び、コンポジションビニル床タイル、単層ビニル床シート、高密度発砲ビニル床シートは、室温になじませてから施工してください。室温と床タイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙き、突き上げなどをおこす可能性があります。
- ・商品に反りやヨジレがある場合、裏面にヒートガンで軽く温風をあてて平らにしてから施工してください。

■保管上のご注意

- 運搬途中では折らないでください。折れジワが残ったり、施工後の「伸び」の原因となる可能性があります。
- 梱包を解かずに、平坦な場所に、ずらさずに保管してください。積み過ぎや長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れを避けてください。変形・変色・変質・汚染の原因となります。

■マーク表示について



グリーン購入法適合商品
グリーン購入法の判断基準に適合している商品です。



屋内床
ビル、住宅等の水濡れがない室内床部。（エントランス床・ホール床・室内トイレ床・室内店舗床等、土足やスリッパ等で歩く場所等雨水などの水濡れのない床部。）



屋内壁
ビル、住宅等の屋内壁部。（エントランス壁・ホール壁・トイレ壁・店舗壁等、使用高さが比較的低い壁部。天井部は別途ご相談ください。）



外壁
ビル、住宅等の屋内壁部。（エントランス壁・ホール壁・トイレ壁・店舗壁等、使用高さが比較的低い壁部）
※工法については各現場毎に打合せが必要です。



重歩行
歩行量の多い店舗などの1Fフロア等に施工できる商品です。ただし、駅などのコンコースや百貨店のエントランスホール等、超重歩行床への施工はお避けください。



優れた衝撃吸収性
転倒時の衝撃を吸収し、ねばりあるクッション性が特長です。



トップフィルム
0.7mm
複層ビニル床タイル表面の透明なトップフィルム層の厚さを表示しました。



厚み寸法
厚さを00mm
厚みを分かりやすく表示しました。



土足歩行
一般的な平らなスニーカーや革靴で歩行可能です。ただし、尖るようなスパイクシューズなどの使用する場所では施工をお避けください。

■メンテナンス



●日常の掃除は、ホウキ、掃除機などでホコリや塵を除去し、固く絞ったモップ、雑巾等で水拭きしてください。



●歩行頻度にもよりますが、月に2～3回のワックスがけをおすすめします。



●ひどい汚れは中性洗剤などをうすくとかし、雑巾等で拭き取った後、水拭きします。

【床材を長持ちさせるために】



●外部からの土や砂の持ち込みは、床材表面を傷つけて摩耗を早めるなどの原因になります。出入り口にはマット類などの設置が必要です。



●傘などからの雨水は、目地や継目から水分が浸透し、剥離の原因となります。出入り口にマット類、傘立て等を留意してください。雨水が持ち込まれた時は、直ちに除去するようにしてください。



●ハイヒールや家具など局部荷重を受けると、圧痕が残る可能性がありますので注意してください。



●タイヤのゴムや椅子のキャスターのゴムなどによって、ビニル床材の表面が変色することがありますので、間に保護板を入れてください。

耐摩耗性試験

（試験方法）

適用規格：JIS A 5705（ビニル系床材）

試験条件：JIS A 1453（建築材料および建築構成部分の摩耗試験方法研摩紙法）

試験荷重：500gf、回転数 1000 回転

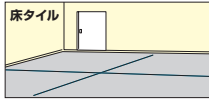
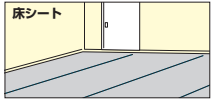
プリント塩ビタイル試験結果

試験項目	試験片番号				平均
	1	2	3		
摩耗質量 (mg)	500 回転	39	52	41	44
	1000 回転	78	94	79	83

ボロンの施工方法とメンテナンス

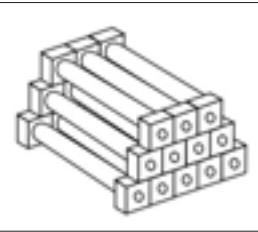
施工について

1. 下地の点検 ① 平滑さ ② 乾燥 ③ 強度 ④ 汚れ を点検します。



2. 割り付け・墨出し

● 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。



3. 材料保管

● 材料保管の善し悪しによって仕上がりが左右されます。**ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の保管管理は重要です。**

- ① 乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
- ② 室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- ③ 端部の発泡は、はずさないでください。
- ④ 床シートの耳の部分がつぶれたり、変形しないように注意してください。

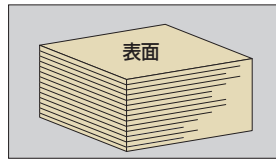
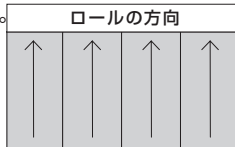


4. 材料確認

● 品番・ロット番号を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。

5. 養生 (長尺)

- ロールが同一方向にあることを確認します。
- 5～10cmの余分を計算に入れて、長尺シートを粗切りします。
- この状態で、10℃以上に保たれた室内に長尺シートを少なくとも24時間仮敷きして、室内温度になじませ、巻きグセ、伸縮などを取り除いてください。



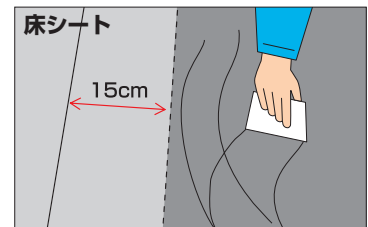
5. 養生 (500角)

● 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所で**タイルを箱から取り出して**、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

⚠ ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の養生管理は重要です。養生を十分に行わずに施工しますと、施工後温度差による材料の伸びによって突き上げなどを起こします。

6. 接着剤塗布

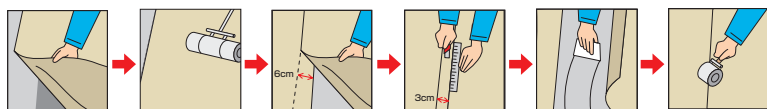
- 長尺シート・500角タイルは墨から15cmずつの幅を残して接着剤を塗布します。長尺シートを重ね切りした後、その部分に接着剤を塗布し圧着します。
- 接着剤はアドヴァンの専用接着剤を推奨します。
- 使用前に接着剤の容器に記載されている事項をご参照ください。
- 木下地など通気性の少ない下地は接着剤の溶剤が抜けにくいので、残留溶剤による塩ビタイルの伸びを引き起こし、施工後の突き上げを発生させることがあります。その場合は、接着剤の塗布量を標準より少なめにし、オープンタイムを長めにとってください。
- アドヴァン専用接着剤以外の接着剤をご使用の際のクレーム等はお受けできません。
- クッションフローアなどの既存床の上に重ねて施工しないでください。
- 施工は専門業者にご依頼ください。



	一般工法	耐水工法
	<p>アクリルアドボン (AB-300A) アクリル樹脂系 エマルジョン形 15kg/缶</p>	<p>ウレタンアドボン (AB-500U) ウレタン樹脂系 溶液形 (1液性) 15kg</p>
ボロンシート	○	○
ボロンタイル	○	○

⚠ モルタル、木質下地へは一般工法もしくは耐水工法にて施工してください。

7. 貼り付け・圧着（長尺）

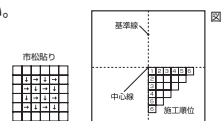


- ①墨に沿って貼り始め、空気を押し出しながら貼り付けます。
- ②45kg以上のローラーなどで中央から継ぎ目に向かって残った空気を押し出すように圧着します。
- ③継ぎ目は6cm重ねます。
注）ロス分は材料代に含まれておりません。
※ボロン・ローラーの柄はつながらないことがあります。
- ④端から3cmのところにて定規をあて、重ね切ります。
- ⑤重ね切りした部分の床シートを持ち上げ、下地に接着剤を塗布し、オープンタイムをとってから貼り付けます。
- ⑥ハンドローラー等で入念に圧着してください。

⚠ 圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。

7. 貼り付け・目違い修正・圧着（500角）

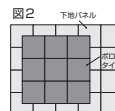
- 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出しし、部屋を4区分します。出入り口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
- 基準線に沿って基準タイルを施工します。
- 施工はピラミッド工法（図1）のようにすずめてください。
- 市松貼りを標準としてください。



- 目違い修正は、圧着する前に全て完了させてください。
- 接着可能時間内に75kg以上のローラーなどでよく圧着します。
- 接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
- 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。

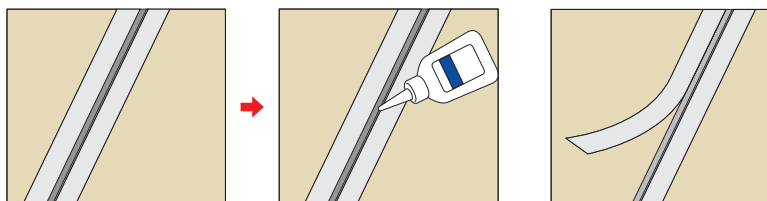
二重床（OA下地）に施工する場合の注意

- 下地パネルの段差は1mm以内、隙間は2mm以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。
- 15℃以上の室温になじませてから施工してください。タイルと室温に温度差があると施工後突き上げ、目地隙を引き起こす原因になります。
- タイルのつめすぎは、施工後突き上げの原因になります。
- 図2のように下地パネルの目地をまたぐように、1/2ずらして割り付けてください。これは、下地の不陸が表面に現れにくくと同時に水などをこぼした場合に、直接パネル下に落ちるのを防ぐためです。



8. シーム処理（長尺）

- 床シートの継ぎ目をシーム処理してください。



- ①マスキングテープのジョイント部分を2mm程度あげて、貼ります。
- ②ジョイント部分にシーム剤を塗布します。
- ③塗布後、マスキングテープをシーム剤が乾燥する前にはがします。

推奨シーム材：ヤヨイ化学工業（株）「シーム液タイプC」

⚠ 施工後のワックスがけは不要です。

メンテナンス

広い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②エクストラクター（濯ぎ洗い機）、もしくはスクラパー（自動床洗浄機）で清掃します。いずれも業務用清掃機です。
 - ・エクストラクターは温水にて清掃してください。
 - ・スクラパーは柔らかいブラシを低圧にて使用してください。
 - ・必ずきれいな温水を使用してください。
 - ・清掃機器は床の縦方向に流してください。
 - ・温水のみの清掃をお薦めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使用してください。
 - ・洗剤を使った場合必ずその後十分に水洗いして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れがつきやすくなります。



狭い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②モップがけするか、デッキブラシで軽くこする、もしくは小型のスクラパー（自動床洗浄機）で清掃します。
 - ・モップは必ず固く絞ってください。
 - ・必ずきれいな温水を使用してください。
 - ・温水のみの清掃をお薦めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使ってください。
 - ・洗剤を使った場合は、必ずその後にきれいな水でモップがけして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れがつきやすくなります。

[床材を長持ちさせるために]



- 外部からの土や砂の持ち込みは、床材表面を傷つけて摩擦を早めるなどの原因になります。出入り口にはマット類などの設置が必要です。



- ハイヒールや家具など局部荷重を受けると、圧痕が残る可能性がありますので注意してください。



- 傘などからの雨水は、目地や継目から水分が浸透し、剥離の原因となります。出入り口にマット類、傘立て等を用意してください。雨水が持ち込まれた時は、直ちに除去するようにしてください。



- タイヤのゴムや椅子のキャスターのゴムなどによって、ビニル床材の表面が変色することがありますので、間に保護板を入れてください。

品質特性

寸法安定性

規格：EN 434（ヨーロッパ規格）
試験方法：試験体を80℃、6時間加熱し、翌日常温に放置。加熱前との寸法の差を測定する。
試験結果：ロール、タイル共に0.25%未満（基準は0.4%未満）

耐摩耗性

規格：EN 985（ヨーロッパ規格）
試験方法：繊維板の上に試験体を乗せ、その上

をナイロン製のキャスターが3つ装着している磨耗試験機を25,000回転させ、床材表面の変化を測定する。
試験結果：変化なし

耐荷重性

規格：EN 433（ヨーロッパ規格）
試験方法：500N/cm²の荷重を2.5時間乗せ、試験前と後の厚みの差を測定する。
試験結果：ロール、タイル共に0.2mm未満

耐衝撃音遮断性

規格：ISO 140-B
試験方法：コンクリートスラブの上に床材を施工した時（A）と施工しない時（B）の階下で測定した衝撃音レベルの差（ΔLw）を求める。
試験結果：アルティザン、ボタニック ΔLw = 13dB、ナウ、エスニック及びBKB（サイザル） ΔLw = 15dB、グラフィック、及びエイト ΔLw = 12dB

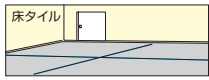
人体帯電圧

規格：ISO 1815（国際規格）
試験方法：試験体を施工した部屋に人間を歩行させ、その後の人体と地面との電圧を測定し、その差を測る。
試験結果：ロール、タイル共に2Kv未満（基準は2Kv未満）

ボロンスタジオの施工方法とメンテナンス

施工について

1. 下地の点検 ① 平滑さ ② 乾燥 ③ 強度 ④ 汚れ を点検します。



2. 割り付け・墨出し

●施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。

3. 材料保管

●材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の保管管理は重要です。

- ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
- ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- ③床シートの耳の部分がつぶれたり、変形しないように注意してください。

4. 養生 (500角)

●10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

注意) ボロンスタジオは箱の中に細糸ロングと細糸ショートが同梱されています。混ざらないように注意してください。

⚠️ ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の養生管理は重要です。養生を十分に行わずに施工しますと、施工後温度差による材料の伸びによって突き上げなどを起こします。

5. 接着剤塗布

- 接着剤はアドヴァンの専用接着剤を推奨します。
- 使用前に接着剤の容器に記載されている事項をご参照ください。
- 木下地など通気性の少ない下地は接着剤の溶剤が抜けにくいので、残留溶剤による塩ビタイルの伸びを引き起こし、施工後の突き上げが発生することがあります。その場合は、接着剤の塗布量を標準より少なめにし、オープンタイムを長めにとってください。
- アドヴァン専用接着剤以外の接着剤をご使用の際のクレーム等はお受けできません。
- クッションフロアなどの既存床の上に重ねて施工しないでください。
- 施工は専門業者にご依頼ください。

一般工法	耐水工法
<p>アクリルアドボン (AB-300A) アクリル樹脂系 エマルジョン形 15kg/缶</p>	<p>ウレタンアドボン (AB-500U) ウレタン樹脂系 溶解形 (1液性) 15kg</p>

⚠️ モルタル、木質下地へは一般工法もしくは耐水工法にて施工してください。

6. 貼り付け・目違い・修正・圧着

- 基準線に沿って基準タイルを施工します。 ●目違い修正は、圧着する前に全て完了させてください。
- 接着可能時間内に75kg以上のローラーなどでよく圧着します。 ●接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
- 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。

⚠️ 施工後のワックスがけは不要です。

メンテナンス

広い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②エクストラクター（濯ぎ洗い機）、もしくはスクラパー（自動床洗浄機）で清掃します。いずれも業務用清掃機です。
 - ・エクストラクターは温水にて清掃してください。スクラパーは柔らかいブラシを低圧にて使用してください。
 - ・必ずきれいな温水を使用してください。清掃機器は床の縦方向に流してください。
 - ・温水のみの清掃をお勧めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使ってください。
 - ・洗剤を使った場合必ずその後十分に水洗いして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れが付きやすくなります。

狭い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②モップがけするか、デッキブラシで軽くこする、もしくは小型のスクラパー（自動床洗浄機）で清掃します。
 - ・モップは必ず固く絞ってください。必ずきれいな温水を使用してください。
 - ・温水のみの清掃をお勧めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使ってください。
 - ・洗剤を使った場合は、必ずその後きれいな水でモップがけして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れが付きやすくなります。

【床材を長持ちさせるために】



●外部からの土や砂の持ち込みは、床材表面を傷つけて摩擦を早めるなどの原因になります。出入り口にはマット類などの設置が必要です。



●ハイヒールや家具など局部荷重を受けると、圧痕が残る可能性がありますので注意してください。



●傘などからの雨水は、目地や継目から水分が浸透し、剥離の原因となります。出入り口にマット類、傘立て等を用意してください。雨水が持ち込まれた時は、直ちに除去するようにしてください。



●タイヤのゴムや椅子のキャスターのゴムなどによって、ビニル床材の表面が変色することがありますので、間に保護板を入れてください。

品質特性

寸法安定性

規格: EN 434 (ヨーロッパ規格)
試験方法: 試験体を80℃、6時間加熱し、翌日常温に放置。加熱前との寸法の差を測定する。
試験結果: ロール、タイル共に0.25%未満 (基準は0.4%未満)

耐摩耗性

規格: EN 985 (ヨーロッパ規格)
試験方法: 繊維板の上に試験体を乗せ、その上

をナイロン製のキャスターが3つ装着している磨耗試験機を25,000回転させ、床材表面の変化を測定する。
試験結果: 変化なし

耐荷重性

規格: EN 433 (ヨーロッパ規格)
試験方法: 500N/cm²の荷重を2.5時間乗せ、試験前と後の厚みの差を測定する。
試験結果: ロール、タイル共に0.2mm未満

耐衝撃音遮断性

規格: ISO 140-8
試験方法: コンクリートスラブの上に床材を施工した時 (A) と施工しない時 (B) の階下で測定した衝撃音レベルの差 (ΔLw) を求める。
試験結果: アルティザン、ボタニック ΔLw = 13dB、ナウ、エスニック及びBKB (サイザル) ΔLw = 15dB、グラフィック、及びエイト ΔLw = 12dB

人体帯電圧

規格: ISO 1815 (国際規格)
試験方法: 試験体を施工した部屋に人間を歩行させ、その後の人体と地面との電圧を測定し、その差を測る。
試験結果: ロール、タイル共に2Kv未満 (基準は2Kv未満)